

製品名: MTCO2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21608**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:26kD;Observed MW:21kD

抗原情報

遺伝子名	MT-CO2
別名	COII COXII MTCO2
遺伝子 ID	4513.0
SwissProt ID	P00403
免疫原	ヒト MTCO2 の合成ペプチド

背景

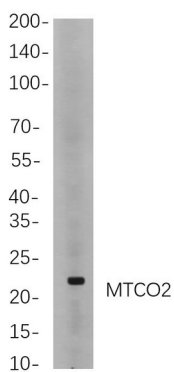
細胞局在: 細胞質。補因子: 銅 A。疾患: MT-CO2 の欠損は、シトクロム c 酸化酵素欠損症 (COX 欠損症) [MIM:220110]の原因となる。COX 欠損症はミトコンドリア複合体 IV 欠損症とも呼ばれる。COX 欠損症は臨床的に多様な疾患である。臨床的特徴は、孤立

性ミオパシーから重篤な多臓器疾患まで多岐にわたり、発症は乳児期から成人期まで様々である。疾患：MT-CO2の欠損は腫瘍形成と関連している。機能：シトクロムc酸化酵素は、酸素を水に還元する反応を触媒する呼吸鎖の構成要素である。サブユニット1~3が酵素複合体の機能的な中核を形成する。サブユニット2は、シトクロムcからその二核銅A中心を介して触媒サブユニット1の二金属中心に電子を伝達します。類似性:シトクロムcオキシダーゼサブユニット2ファミリーに属します。

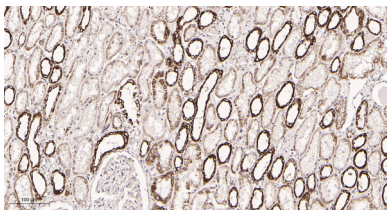
研究分野

-

画像データ



MTCO2 ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト腎臓組織の免疫組織化学分析。1、MTCO2 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。